

年間聖句

「あなたがたは世の光である。」
マタイによる福音書5章14節より

神戸キリスト教青年会総会のご報告



6月28日(土)に、神戸YMCA三宮会館にて2025年度神戸キリスト教青年会総会を開催しました。コロナ禍を経ての数年は人と人が直接出会うことが少なくなっていたことから、「神戸YMCA大会」として、会員・ボランティア・職員の相互の交わり、各YMCAの活動・事業にふれるための工夫などを重ねてきました。

今回は常議員で実行委員会が設置され、昨年12月から何度も協議を重ねました。任意団体としての神戸キリスト教青年会から使命に沿った活動・事業が生まれ、現在は公益財団法人・学校法人・社会福祉法人と3つの法人格を有するまでになっているが、本来の神戸キリスト教青年会が果たすべき役割は何か、会員運動とは何か、その中で総会はいかにあるべきかを語り合い、結論として、礼拝をもって満たされていくことの大切さ、そして神戸YMCAとしての報告と、これから使命を果たしていくための計画を共有しようという内容になりました。

第一部の礼拝は、塚本潤一牧師による奨励「地の塩、世の光として」でした。神戸YMCAの活動は、目に見えるものだけではなく、塩のように裏から全体を支え、

豊かに守る働き歴史でもあること。世の光は他者を照らす存在であるということ。不安や閉塞感がある時代にあっても小さな世の光として存在することの大切さを、力強く語ってくださいました。

第二部では、役員(常議員)の一部辞任および選任が承認議決されました。続けて、この1年間を通しての神戸YMCAの運動と事業を振り返り、小澤昌甲総主事から、未来を見据えた将来計画を立てていく途上であること、そのためにも基礎となる会費・会員制度のあり方の再検討にも着手していくことが共有されました。さらに、各委員会のこの一年の歩みが報告され、名誉会員、ボランティア奨励賞、そしてリーダー会への委嘱式と、それぞれの角度からYMCAを支え、またYMCAの活動を担ってくださっている方々を紹介する時となりました。

子ども・若者・ボランティア、それぞれの居場所となる手段としての活動は時代の中で変化していきますが、神戸キリスト教青年会としての使命・目的を再確認し、新たな年度を歩みだすことを共に確認する総会となりました。

神戸キリスト教青年会総会実行委員会 担当主事 岩井 義矢



塚本 潤一牧師

ディンドンリンガーズ ハンドベルコンサート

5月10日(土)、三宮会館チャペルにて「ディンドンリンガーズ ハンドベルコンサート」が行われました。100名を超える来場者の中には元総主事の水野雄二さん(神戸YMCA名誉主事・神戸ポートワイズメンズクラブ)もおられ、コメントを寄せてくださいました。

夕べに“天使の声”を聴く

5月の夕べ、YMCAのチャペルに“天使の声”が重なり合って響いていました。私はディンドンリンガーズの“追っかけ”のように、台湾公演も含め何度もその演奏に接する機会がありましたが、今回もまたベルの音が、さも“天使の声”に聞こえるような豊かな時を過ごしました。

お気に入りにはヘンデルの「パッサカリア」。同じ旋律が時に高く、時に低く、表情を変えて繰り返されるその作品は、ハンドベルの特性を生かした秀逸な音楽でした。その音の世界にいつまでも浸っていたい、そんな夕暮れ時でした。



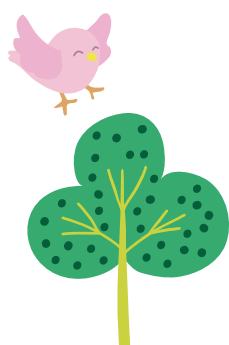
2025年度 神戸キリスト教青年会総会を終えて～会員表彰とリーダー委嘱式～

神戸キリスト教青年会総会で表彰された方の紹介を行いました。また、リーダー委嘱式では余島、三宮、西神戸の各リーダー会の代表者へ、清水泰人副会長から委嘱状が手渡されました。

■名誉会員

名誉会員とは、通算20年以上神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の維持会員で、YMCAの発展に特に貢献があった方の中から、常議員会の推挙を受けられた方です。今年、新たに次の皆さまが名誉会員になりました。

やまさき ゆきお まきた みのる たち ただゆき
山崎 住夫さん、牧田 稔さん、館 忠之さん(順不同)



山崎 住夫さん

■ボランティア奨励賞

ボランティアとして特に顕著な貢献をなされた個人・団体です。各部門の責任者等から推薦を受け、常議員会にて推挙されました。

まなびば学習支援ボランティア(西神戸YMCAボランティア)、梶原 逢楽さん(ウエルネスセンター学園都市ボランティア)、西村 凌さん(西宮YMCAユースバスケットボールボランティア)(順不同)



牧田 稔さん(左)へ名誉会員証の授与



西神戸YMCAまなびばボランティアのお二人



梶原 逢楽さん(左)へ



西神戸ブランチリーダー会三好 功太郎さん(左)へ

神戸YMCA専門学校 ホテル学科

「夢に挑む留学生たち」Class in Hotel(ホテルでの授業の1コマ)

専門学校ホテル学科には留学生も多く在籍しています。学生たちは国際色豊かな環境の中で日々成長を遂げています。実践的な授業では、接客マナーや語学力を磨きながら、ホテル業界で求められる即戦力を身に付けています。

多くの留学生は自国の観光業の発展に貢献したいという強い志を持ち、日本での学びを将来に生かそうと真剣に取り組んでいます。実際のホテルでの実習では、プロの現場を体験し、自信と誇りを得ることができます。文化や言語の違いを乗り越えながら

も、互いに刺激し合い、生き生きと学ぶ彼らの姿は胸を打つものがあります。

留学生たちは、ここでの学びを通じて「おもてなしの心」を世界に広める未来のホテルパーソンとして、一步一步夢に近づいています。



こくさいのまど

ボランティア活動が教えてくれたこと

皆さまからご支援いただいております国際協力募金の一部を「神戸YMCA国際奨学金」として用い、外国人学生の日本留学の応援をしています。2025年度も引き続き応援してまいりますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

2024年度を受給者で、ボランティア活動にも参加された学生の活動の感想と今後の抱負について聞きました。



私が初めて参加したボランティアは、YMCAから紹介があった「灘チャレンジ」という夏祭りです。私は子どもと遊ぶのが好きですから参加しました。夏休みは、放課後キッズルームに来ている小学生と遊ぶボランティアをしました。YMCAの活動は、子どもたちと遊ぶだけではなく、世界の平和のために、子どもたちの「勉強したい! 遊びたい!」という夢を叶えるプロジェクトだとわかりました。

私も神戸YMCA学院専門学校日本語学科を卒業後、大学に進学して建築の勉強を頑張りたいです。

チョー ピエピエ ミヨーさん(ミャンマー)





No.2

争いが終わらない… 今、これから

総主事 小澤 昌甲

「ハラスメント」は、1980年代に「セクハラ」という言い方から広まり、知られるようになったと記憶しています。私たち人間は、人に対してさまざまな感情を抱きつつ、日々生きています。相手がどう思うだろうか？ 傷つけないだろうか？ と、少し立ち止まって考えることは、当たり前のように教育し、また、教育されてきたことと思われそうですが、近年は、その「人間力」が問われている時代だと思われます。

最近では、ハラスメントや暴力、差別が起きている場面に居合わせたときに、傍観するのではなく積極的に介入して被害を軽減させる行動をとる「アクティブバイスタンダー」を育てようという研修も目にします。場面を和ませたり、陰湿な状況の視点を変えたりするような存在が社会的に求められていることの表れかと思えます。

一方、世界をみますと、第一次中東戦争から続く2023年のハマスとイスラエルの争いや、ウクライナとロシアの戦争では、戦うことがまるで正義であるかのように主張されています。その国に生まれ育つ子どもや若者の生きる権利そのものが剥奪され、一方的に傷つけられている状況があります。

平和とは程遠い今、世界が近い今、どんな形であれ、その現実を直視し、自ら考え、アクティブに行動する者でありたいと思います。



YMCA保育園・西神戸YMCA保育園

ワイワイまつり

5月31日(土)にYMCA保育園・西神戸YMCA保育園主催の「ワイワイまつり」をYMCA保育園で開催しました。このまつりは在園児やそのご家族、卒園児や地域の皆さまとの交流の時間を大切にすることや、各コーナーの収益が募金活動へとつながることを目的としています。園内にお知らせをし、ポスター掲示が始まると、子どもたちから「ぜんぶたべたいなー!!」「おにいちゃんといくね!」と楽しみにしている声が聞こえてきました。

当日はいいお天気に恵まれ、たくさんの方が来園

してくださいました。この日の午前中は地域の小学校で運動会が開催されていたので、終わり次第、卒園児の子どもたちが「先生！ひさしぶり～!」と駆けつけてくれ、卒園してもつながり合える喜びを感じました。保護者の方や地域の方々とも心あたたま楽しい時間を過ごすことができました。

ご協賛いただいた企業の皆さまもありがとうございました。収益金は、必要とされているところへ、募金としてお捧げいたします。皆様のご理解とご協力に、心より感謝いたします。



ファミリーウェルネスセンター タンポポくらぶ

輝け！タンポポくらぶ

「タンポポくらぶ」は保育スタイルの療育プログラムです。子どもたちの日々の経験の積み重ねを大切にしています。

個性豊かな子どもたちによって、多くの出来事が毎日起こります。音楽や制作だけでなく、体育プログラムを行い、プールにも入ります。心や身体を動かすことで、今までできなかったこともできるようになり、考える力や繰り返し挑戦する強い心が育っていきます。

人を信頼し安心できる環境では、互いを認め合い、互いを大切に思う気持ちが子どもに宿ります。子ど

も同士が育ち合う場所です。一人ひとりの個性が尊重される社会になったとはいえ、同じことが一緒にできないと認めてもらえない社会。この社会で、強く逞しく育つこと、楽しく過ごすことを願い、真剣勝負の日々を送っています。

子どもは、決して何もできない弱い存在ではありません。たくさんの方を私たち大人に教えてくれる対等な存在です。「タンポポくらぶ」は、ちょっと先に社会のことを知っている私たちリーダーが、愛情をたっぷり注ぎ、共に成長を喜ぶ場所なのです。



ウォーターセーフティーキャンペーン

ファミリーウェルネスセンター・ウェルネスセンター学園都市

全国にあるYMCAのアクアティックプログラムでは、「水難事故ゼロ」を目指して、例年6月から9月の期間を「ウォーターセーフティーキャンペーン」と定め、夏を本格的に迎える前の6月には「ウォーターセーフティーデー」というイベントを開催しています。

ファミリーウェルネスセンターでは、25mを泳ぎ切ることに挑戦する「25mチャレンジ」など、もしもの時でも慌てずにいのちを守る術を学ぶ講習を実施しました。ウェルネスセンター学園都市では、親子で着衣泳体験をし、衣服着用時の水中でのボディコントロールの困難さやライフジャケット着用の重要性を学びました。

2024年夏季における溺水者数は全国で250名以上あり、そのうち65%が死亡しています。水辺という環境には楽しいことがあふれていますが、恐ろしさも同居しています。泳げるから大丈夫!と過信せず、「自分のいのちは自分で守る」「みんなのいのちを大切に」。このキャンペーンを通して水上安全教育を伝えていきたいと考えています。



YMCA STORY

つながりの中で

私のYMCAとの出会いは高校生の時です。部活でバスケットボールをしていたのですが、学校のコートが狭く、公式試合の前に、ときどきYMCAの広いコートを借りて練習をしていたのが始まりです。

時を経て、近所でキリスト教の御葬儀があり、お手伝いをして参列したとき、当時の今井鎮雄総主事と、木島三雄主事に偶然、お目にかかり、近況をお話したのを思い起こします。

またしばらく時が経ち、三宮のYMCA体育館で子ども(幼少年)のプログラムをするので手伝ってくれないか…と声をかけていただき、参加しました。心身の自立を促す大切な世代の3歳児総合クラスや、仲間づくりが苦手で、全身運動があまり好きでない小学生の発達支援プログラム等々に関わらせていただきました。

その数年後、当時の山口 徹総主事から、須磨高倉台のYMCAちとせ幼稚園の主任教諭に請われ、阪神・淡路

大震災を挟み5年余り働かせていただきました。

大震災発生直後は交通網の寸断の中、乗り換え、乗り継ぎをして宝塚からの通勤でした。高倉台はほとんど被害はありませんでしたが、避難して来られている人が居られる園児の家庭が多いことを知り、一日も早く幼稚園の保育をと思い再開しました。

退職後は三宮、宝塚、三田、西宮で幼児クラスの立ち上げに関わらせていただきました。思い返すと、多くの幼児、保護者の方々、リーダーたちと得難い人間関係を築かせていただき、数十年を経た今も交わりが続いていることに、言い表せない感謝とよろこびがあります。目には見えませんが、イエス様が常に後になり、先になって導き、励まし、歩いてくださっていたからだと思っています。

YMCAが一人ひとりのつながりを大切に、心豊かにイエス様と共に歩み続け、良き働きをされますようにと心から祈り、願います。

いまにし ときこ
元神戸YMCA職員 今西 時子 さん

ワイズコーナー

ワイズメンズ国際協会 西日本区六甲部
2025-2026年度の抱負

やなぎとしはる
六甲部部长 柳 敏晴 さん
(神戸西ワイズメンズクラブ)

6月14日(土)、ANAクラウンプラザホテル神戸で、第28回西日本区大会を開催しました。鶴丹谷 剛西日本区理事(余島キャンプリーダーOBOG会会長)のリーダーシップのもと、六甲部7クラブが運営をサポートし、神戸YMCA学院専門学校の学生たち20名にも協力をいただき、611名の参加者と共に実りある大会を開催することができました。ワイズメンズクラブの活動が、YMCA、ユース、地域へ広がる良い機会となりました。

YMCAを支え共に歩むワイズメンズクラブの年度は、6月に終わり7月に始まります。新年度の六甲部は、7クラブ112名(内女性クラブ員29名)の陣容でスタートしました。各クラブとも高齢化が進んでいますが、これを肯定的に捉え、これだけの高齢者が生き生きと活動しているクラブとして地域社会へ訴え、活動を拡げていきます。

「温故知新 Visiting Old, Learning New! 」と「六甲部にウエルビーイング We Rokko-Bu aims for Wellbeing! 」の2つを部長主題にしました。「次世代へつなぐ六甲部 Connecting Next Generation from Rokko-Bu! 」を活動方針の中心として、YMCAにつながる7クラブがサービスクラブとしてそれぞれの能力に応じて活動し、各クラブの歴史の積み上げの中から次世代に何をつなぐかを検討・試行しつつ六甲部全体へ広げ、YMCAとY'sの活性化を目指し、活動・計画を進めていきます。さらに、地域諸団体とのコラボ活動にも取り組みたいと考えています。



2024年度 YMCA国際協力募金へのご協力ありがとうございました

2024年度も、YMCA国際協力募金におきまして、皆さまからの温かいご支援、誠にありがとうございました。皆さまから寄せられた募金は、総額で3,696,516円となりました。以下の通り、神戸YMCAで用いさせていただきます。国際協力募金に携わってくださったすべての皆さまに、改めて、心より感謝申し上げます。

【収 入】	
募金内訳	
1)一般募金(指定なし)	1,941,324
2)指定募金	1,755,192
計	3,696,516



【支 出】	
日本YMCA同盟拠出金	350,000
東南アジア農村支援/チェンマイYMCA水害支援	200,000
東南アジアこども支援(口唇口蓋裂プロジェクト)	30,000
定住外国人子ども奨学金	180,000
CODE・PHD協会支援	100,000
神戸YMCA国際奨学金	360,000
国際活動リーダーシップ養成	315,856
オリーブの木/パレスチナ・ガザ支援	120,000
ウクライナ緊急支援募金	41,966
能登半島地震・水害支援募金	1,668,260
開発・国際理解教育	213,595
事務局経費	116,839
計	3,696,516

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同)(前号掲載以降～6/15まで)

寄附

熊谷 郁子、松田 道子、堀田 牧子、本城 智子、星野 昌枝、安行 英文、石丸 鐵太郎、山ノ井 景子、清水 泰人、島田 恒、古谷 美子、中山 麻夫、株式会社エーアンドディー設計企画代表取締役 山田 正人、株式会社ジャクエツ代表取締役 徳本 達郎、神戸信用金庫理事長 西多 弘行、社会福祉法人みかり会理事長 谷村 誠、兵庫県社会福祉協議会会長 入江 武信、社会福祉法人光朔会理事長 山口 元、社会福祉法人光朔会常務理事 山口 幸、みどりトータル・ヘルス研究所所長 本岡 寛子、社会福祉法人イエス団理事長 神崎 清一、ひかりのくに株式会社、社会福祉法人松蔭ミカエル福祉会松蔭おかもと保育園、学校法人松蔭女子学院理事長 中村 豊、聖ミカエル幼保連携型認定こども園理事長 藤本 重美、社会福祉法人神戸真生塾、社会福祉法人頌栄会理事長 原 寛、日本基督教団神戸教会、姫路YMCA

子ども奨学金

田中 邦康

ミャンマー地震緊急支援募金

坂東 幸子、権藤 みか、桑野 友子、柏原 佳子、田辺 征一、大塚 永幸、岩井 義矢、小澤 昌甲、海藻 佳代子、草野 修、村上 抄子、神戸ポートワイズメンズクラブ、ワイワイまつり募金

国際協力募金

須磨センター学童保育クラブ父母会

この他にも、多数の寄附・募金を
いただいております。
感謝をもってご報告いたします。

神戸YMCA
遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。
神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。
大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要なとされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

神戸YMCAの願い

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、
日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	西神南YMCA	☎078(993)1560	ユースプラザKOB・EAST	☎078(891)8222
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183	神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901	こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992	神戸市立高倉台児童館	☎078(733)6844
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011	神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
キャンピングサービスセンター	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955	YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542	おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705	西宮市香櫨園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016	西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	あかしこども広場	☎078(918)6355	西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444
YMCAおひさま	☎078(793)9077	学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045		

